

## エイジレス・ライフを実践



### 楽しく生きることを心がけ

平成27年度エイジレス・ライフ実践者として鈴木次郎さん（角館町竹原町）に内閣府特命担当大臣からエイジレス章として記念の楯が贈られました。

「エイジレス・ライフ」とは、年齢を感じさせず、自らの責任と能力で、自由に生き生きとした生活を送ることを、内閣府が提唱しているものです。

鈴木さんは「高貝次郎」というペンネームで短歌歴60年という実



エイジレス・ライフ実践者として認められた鈴木次郎さん。

績の持ち主で、現在は講師として、小学生から高齢者まで短歌の実作指導を行っています。

鈴木さんは、「楽しく生きることを心がけ、今後も精力的に活動していきたい」と話しました。

## 第53回秋田県老人クラブ大会



### のぼそう！健康寿命

10月8日、「第53回秋田県老人クラブ大会」が秋田県民会館で開催され、仙北市老人クラブ連合会から次の方々が表彰されました。

〔敬称略〕

◇秋田県知事表彰【育成功労者表彰】角館町地区老連 岩瀬クラブ 会長 藤原芳夫【優良老人クラブ表彰】角館町地区老連 藺田長生クラブ会長 加藤慶治

◇秋田県老連会長表彰【育成功労者表彰】田沢湖地区老連副会長



10月21日、受賞報告で角館庁舎へ訪れた仙北市老人クラブ連合会の皆さん。

熊谷勇一郎【優良老人クラブ表彰】西木町地区老連 門屋老人クラブ会長 佐藤俊三



屋外会場では、青空市場や食堂などが出店。大勢の見物客で賑わいました。



宮城県女川町竹浦獅子振り保存会の皆さんによる伝統芸能。「ここは、故郷」と書かれた垂れ幕のパフォーマンスに会場からは大きな拍手が送られました。



# 第11回仙北市産業祭

農商工連携でさらなる可能性を

### 農林産物等品評会<敬称略>

#### ☆は一等賞兼特別賞

第1部 水稲・豆類・雑穀（出品22点）

【仙北農業共済組合長理事賞】

☆玄米（あきたこまち） 戸嶋修（雲然荒屋敷）

第2部 特用林産物・果実・苗木・花き（出品24点）

【仙北東森林組合代表理事組合長賞】

☆ダリア 高橋勉（神代字柏林）

第3部 野菜・いも類（出品322点）

【仙北市長賞】

☆VSほうれん草 若松金男（上松木内字寺村）

☆キャベツ 鈴木朝吉（下延大前田）

【秋田県農業協同組合中央会長賞】

☆ねぎ 佐藤和喜（上荒井字寺村）

☆白菜 菅原清康（藺田釣田）

☆大根 高橋博子（梅沢字森腰）

【仙北市議会議長賞】

☆長芋 千田吉栄（田沢字上前田）

【秋田おばこ農業協同組合代表理事組合長賞】

☆ほうれん草 照井松子（雲然荒屋敷）

☆キャベツ 藤村多工門（岡崎字板花）

☆山の芋 草薨巳代子（神代字勘解由屋敷）

【仙北市農業委員長賞】

☆カリフラワー 鈴木妙子（下延大瀬蔵野）

第4部 加工品・漬物（出品11点）

【仙北市商工会長賞】

☆ムカボール 千田ミワ（田沢字上前田）

第5部 葉たばこ（出品14点）

【秋田県たばこ耕作組合長賞】

☆葉たばこ 木村明夫（山谷川崎川崎）

第6部 工芸品・手芸品（出品26点）

【仙北市長賞】

☆レース編み（大） 櫻田礼子（桧木内字長戸呂）

菊花の部入賞者（角館菊の会）

【大菊（厚物・細物）】

最優秀賞 古郡一美

優秀賞 千葉肇、阿部義信

優良賞 太田弘、武藤長衛、柏谷朝二

10月24日・25日の2日間、神代市民体育館を主会場に「農・商・工が手をつないで！」をテーマに、「第11回仙北市産業祭」が開催され、多くの方が訪れました。

農林産物等品評会審査の結果、一等賞15点、二等賞17点、三等賞22点の作品が入賞しました。

体育館には、夏からの天候不順など厳しい環境の中、農家の皆さんが丹誠込めて育てた農産物等が419点、所狭しと並べられました。

今回は、昨年を引き続き宮城県女川町竹浦獅子振り保存会の皆さんによる「獅子振り」の伝統芸能が披露され、「ここは、故郷」と書かれた垂れ幕を出すパフォーマンスには、来場者から大きな拍手が送られました。

また、特別企画として宮城県女川町の「震災から復興へのみちのり写真展」が開催され、当時の震災の悲惨さとその後の力強い復興へのみちのりが紹介されました。

食の提供として、秋田仙北夢牧場産の秋田牛が仙北市で初めて販売され大盛況でした。また、角館横町さくら通り会による栗のお菓子、料理コレクション、米づくりの匠がつくった「あきたこまち」や「ゆめおぼこ」のプレゼントなど、食の可能性を発信するよい機会となりました。

芸能では、田沢湖龍神太鼓保存会や西木町くりっこ太鼓演奏、神代こども園の4・5歳児による発表、大曲養護学校の高等部生徒による曲養太鼓が披露されたほか、あきた舞妓に

よる舞踊や記念撮影、藤波一座による演芸会などが行われ、来場者を楽しませました。

さらには、仙北警察署・交通安全協会による白バイの展示、乗車体験、歩行環境シミュレーターや角館消防署による消防車の展示、乗車体験などの体験コーナーを通じて、防犯・防災意識を高める企画も行われました。

屋外会場では、神代小学校による販売体験や西明寺小学校による農業体験で生産した長ネギのチャリティー即売、商工会や仙北東森林組合、JA秋田おばこの各部会による青空市場や食堂などが出店し、来場者は旬の味に舌鼓をうったほか、新鮮な野菜などを買い求める人で賑わいました。

## 平成27年度仙北市安全狩猟射撃大会

10月25日、田沢湖クレー射撃場で「平成27年度仙北市安全狩猟射撃大会」が開催され、参加した23人が射撃の腕を競い合いました。

大会成績は次のとおり。〔敬称略〕

- 優勝 大石治（田沢湖）25点
- 準優勝 大友勲夫（田沢湖）23点
- 第3位 鈴木治（角館町）23点
- 第4位 小田文男（田沢湖）22点
- 第5位 門脇吉美（西木町）21点
- 第6位 伊沢芳郎（角館町）20点



標的に狙いを定め、息詰まる瞬間。

## 第55回郷土民謡民舞全国大会（民舞グランプリの部） 藤原ミサ子社中が準大賞を受賞

第55回郷土民謡民舞全国大会（一般社団法人日本郷土民謡協会主催）が10月16日から18日までの3日間、

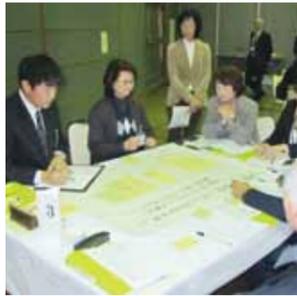


田沢湖庁舎へ報告に訪れた藤原ミサ子さん、地主重雄さん、稲田修さん（右から順に）

日本武道館（東京都）で開催され、民舞グランプリの部に出場した秋田地区連合会生保内支部の藤原ミサ子社中が準大賞に輝きました。

同社中は3年連続で秋田県代表として全国大会に出場しており、過去最高の成績を収めました。

民舞グランプリの部には9団体が出場し、藤原ミサ子社中の踊り手11人は、秋田甚句を堂々と披露。指導にあたる藤原ミサ子さんは、「この大会は高校生以上が出場条件なので、小中学生から育ててきたら」と今後の展望を話しました。



グループワークでは「目指す地域像」について意見交換が行われました。

研究会を設置しました。  
第1回目の研究会では、全国各地で住民主体の助け合いの地域づくりの応援活動に尽力している「さわやか福祉財団」の鶴山芳子理事の講義が行われました。また、グループワークも行われ、参加者は活発な意見交換をしていました。

写真は10月29日の「田沢湖さえ愛ねっと」の模様です。仙北市包括支援センターでは、毎月、田沢湖地区で「田沢湖さえ愛ねっと」と、神代地区で「神代つなぎ合いネット」という医療と介護、行政職員等によるケア会議を開催しています。また、角館、西木地区についても不定期ですが、昨年度から開催しています。  
介護が必要となっても安心して生活するにはどのような支援が必要か、今ある資源をどう活かすかなど、多職種で話し合いをしています。医療と介護の垣根のない関係づくりが、地域の皆さまの安心に繋がると考えています。

住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを

## 仙北市包括支援センターから

介護が必要になっても安心できるまちをめざして



「介護が必要になっても安心して暮らせるためには何が必要か？」参加者は真剣に考えました。

### 気軽にご参加してみませんか？ 「みんなのカフェ」を開催

10月23日、田沢湖生保内の男坂会館で、仙北地域振興局が主催する「みんなのカフェ」が開催され、近隣の住民約30人が集まりました。

「みんなのカフェ」は、地域の方々に気軽に集まっていただき、認知症や介護の知識のある専門家から講話を聞いたり、体操指導を受けたりしながら、心身共に元気になってもらうことを目指しています。

今回は、実行委員の方々から、認知症に関する講話や、手足の運動、しりとりをしながらの足踏みなどの運動を楽しく指導してもらいました。

次回は、11月25日13時30分から、角館交流センターで「みんなのカフェ」を開催しますので、皆さまお気軽にご参加ください。



集まった皆さまは、体操指導を受けたり、お茶会をしたりしながら、和気あいあいと会話を楽しんでいました。

### あなたもやさしいまちづくりの一員に。 認知症サポーター養成講座を開催



このほど、認知症に関する正しい知識、認知症の方への声かけや対応、認知症の予防と治療を学ぶ認知症サポーター養成講座が開催されました。

10月20日には、荒町ミニデイの方々16人が、講師のキャラバンメイトの質問について真剣に考えたり、笑ったりと楽しく話を聞きました。

10月8日と22日には、日頃地域と密接に関わる仕事をしている市内郵便局の職員51人が、とても熱心に話を聞きました。郵便局の職員には、認知症サポーターのキャラクター「キャラロバ」のシールが配布され、各郵便局では、「認知症サポーターがいます」のシールが貼られています。

認知症サポーターは、地域で認知症の方や家族を支える応援者です。ぜひ、皆さまの身近なところでも開催してみませんか？

人数や会場などについては、仙北市包括支援センター（☎43-2283）までご相談ください。

### 西明寺いものこ出荷組合が提供



#### 秋の味覚に大喜び

このほど「西明寺いものこ出荷組合（藤村春之代表）」では、「子どもたちに地元産の里芋を好きになって欲しい」との思いから、市内全域の認定こども園、保育園、幼稚園に里芋を提供しました。  
10月26日には、かくのだて幼稚園で採れたての里芋を使った「いものこ汁」が振る舞われ、子どもたちは「おいしい、おいしい」と口々に秋の味覚を楽しみました。  
今後、組合では、「里芋を使っ



た料理教室なども開催していきたい」と話していました。

かくのだて幼稚園の子どもたちは、美味しそうに「いものこ汁」を味わっていました。

### 文化講演会で美意識語る



#### 引き算の文化に共感

10月27日、角館榊細工伝承館を会場に「第55回文化講演会」が開催されました。

この文化講演会は、角館図書館後援会が主催し、著名な文化人を招き行われています。

50周年記念となった今回の講演では、俳人の黛まどか氏が講師を務めました。黛氏は「世の中に物が溢れ、足し算の世の中になっている。日本は引き算の文化」と俳句を通してみる日本人の美意識に



ついて講演し、会場の150人の聴衆はその感性に共感しながら聞き入っていました。

黛まどか氏は、独自の感性「引き算の文化」が日本人の美意識につながると話しました。

### 藺田豊穰まつりで出来秋祝う



#### 実りの秋に感謝

10月25日、白岩地域運営体が行う「第6回藺田豊穰まつり」が藺田児童会館で開催されました。  
このまつりのメインとなる地場農産物品評会では、農産物や加工品など80品近くが白岩地区全域から出品されました。  
審査の結果、草薨美紀子さんの「ネギ」が仙北市長賞、下田三千雄さんの「ひでこジャム」が白岩地域運営体会長賞を受賞したほか17点が入賞するなど、いずれも見



事な出来栄えに、訪れた皆さんは感心していました。

見事な出来栄えの農産物や工夫を凝らした加工品が多数出品されました。審査員の審査にも熱が入ります。

### 日系アメリカ人を招へい



#### 外国人視点から学ぶ

10月23日、ANA総合研究所観光課内）との地域協働協定により取り組んでいるユニバーサルツーリズム（誰でも安心して観光できるまちづくり）推進の一環として、ハワイ在住の日系アメリカ人を招いたツアーが行われました。

このツアーは、旅行行程やカリキュラムの作成段階からお客様の意向を取り入れた旅行者目線のメニューとなっています。  
ツアーに参加した25人は、角館



榊細工伝承館や石黒家を見学しながら、外国語表記や外国人視点ならではの感想を話していました。

参加者は武家屋敷を散策しながら、日本の歴史や文化などについて、熱心に説明を聞いていました。